

(科目コード : 1100220072Y3)

【改訂】第26版(2014-03-11)

【科目】古典

【科目分類】 一般科目 【選択・必修の別】 必修 【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 3組 2年

【担当教員】 前期：大島 由紀夫

後期：大島 由紀夫

【授業目標】

古典を読解・鑑賞する能力を伸ばすとともに、ものの見方や考え方を豊かにし、日本文化に対する理解を深めることができる。

漢文の学習に必要な基礎的知識を習得し、活用できる。

古文・漢文の音読に習熟し、リズムを味わうことができる。

教材として取りあげた作品について、文学史における位置づけを含め、作品の意義を考えることができる。

古語・漢語の学習を通して、言語感覚を磨くことができる。

【教育方針・授業概要】

1年次既習「古典」の学習成果に基づき、基礎的な古典文法や古典常識を現代のそれと比較しつつ古典を読解・鑑賞して、古典作品の現在の意義について考察を深める。

古文教材においては、歴史・文化等の作品成立背景を理解しながら、『徒然草』『古今和歌集』『平家物語』をとりあげて読解・鑑賞し、現代と対照しつつ日本文化の諸相を概観する。

漢文教材においては、訓読法の基礎学習から始発し、故事・漢詩・『十八史略』をとりあげて読解・鑑賞し、中国の思想や文化が日本の文化に及ぼした影響について考える。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：国語総合古典編：中洲正堯 他：三省堂：9784385726953

副教材：新訂総合国語便覧：稲賀敬二 他：第一学習社：9784804033013

参考書は、適宜、授業時に紹介する。授業時に古語辞典・漢和辞典を使用する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義講読と演習とを融合した形式で授業を展開する。必要に応じて視聴覚教材を使用する。

【メッセージ】

声に出して読むこと 辞書をひいて調べることを大切にしてください。また、ノートは「板書を写すもの」ではなく、「自らがつくるもの」であることに留意してください。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：20%，期末試験：20%，小テスト5% 課題・ノート5%

[後期]中間試験：20%，期末試験：20%，小テスト5% 課題・ノート5%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(古典)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	(1)授業の目的と概要を理解する。 (2)これまでの古典学習の成果を確認する。		
第2回	日本語の発音と表記	(1)日本語の発音の変遷について概要を理解する。 (2)日本語の表記方法の成り立ちについて概要を理解する。		
第3回～第6回	徒然草	(1)作品の概要・文学史上での位置づけを理解する。 (2)第92段・第137段を読解・鑑賞する。 (3)古典文法の既習事項を復習する。 (4)表現の特色について考える。 (5)作者のものの見方・考え方について意見をまとめる。		本文書写
第7回～第8回	古今和歌集	(1)作品の概要・文学史上での位置づけを理解する。 (2)和歌数首を読解・鑑賞する。 (3)和歌の修辞・技巧を理解する。 (4)作者のものの見方・感じ方について意見をまとめる。		本文書写
第9回～第15回	平家物語	(1)作品の概要・文学史上での位置づけを理解する。 (2)巻9「木曾の最期」を読解・鑑賞する。 (3)敬語表現を理解する。 (4)古文の音読に習熟する。 (5)当代「武士の世界」について理解を深める。	ノート確認 小テスト	本文書写
第16回～第17回	漢文入門	(1)訓読法の基礎を理解する。 (2)成句・格言を教材として、訓読法に習熟する。		練習問題
第18回～第21回	故事	(1)書き下し文の作成に習熟する。 (2)故事成語のいわれや意味について調べる。		白文書写 訓読練習
第22回～第24回	漢詩	(1)近体詩の特徴を理解する。 (2)漢詩数編を読解・鑑賞する。 (3)李白・杜甫など、代表的な詩人について調べる。		白文書写
第25回～第30回	十八史略	(1)作品の概要・文学史上での位置づけを理解する。 (2)「臥薪嘗胆」を読解・鑑賞する。 (3)読解に必要な語法を理解する。 (4)漢文訓読のリズムを味わう。	ノート確認 小テスト	白文書写 訓読練習